

○砂防指定地行為許可申請添付書類一覧表

添付書類名	目的	縮尺	明示事項等
位置図	当該区域及び周辺に砂防事業施工箇所又は予定箇所が含まれていないかどうか、別の開発行為が行われていないかどうか、また、災害防止上の見地から妥当な場所であるかを確認しようとするためのものである。	1/10000 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・方位を明示 ・申請地を赤枠で明示
丈量図	申請区域の規模及び申請区域にかかる砂防指定地の面積の根拠を求めようとするためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として座標測量を行い、面積計算書を記入（求積は小数点以下第2位表示） ・行為区域（開発区域）と申請地（砂防指定地）が異なる場合は、行為区域の面積と申請地の面積を求積する
現場写真	申請地の状況、排水流末の状況を確認しようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> ・行為区域線を赤線で明示 ・撮影年月日を記入 ・流末水路の接続箇所を含むこと
各種構造図 ・断面図等	工作物の詳細な構造を確認し、形状、規格、寸法等が妥当であるかを検討しようとするためのものである。	1/500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種土砂流出防止施設、放流先水路構造図、擁壁等の形状、寸法、材質（JIS 規格）等を記入
現況平面図	申請地の地形を把握し、降雨時を想定して雨水の流出、申請区域の弱点箇所があるか確認し、図上で砂防設備等がないかを確認しようとするためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・縦横断線を記入 ・行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域と申請地を各々別色の実線で明示 ・測量年月日を記入
計画平面図	計画が申請区域内でなされているか、縦横断図から法面の表現に誤りはないか、現況平面図で確認した弱点箇所に対する措置がなされているか、各種構造物の規模及び配置に支障はないかを確認しようとするためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・縦横断線を記入 ・行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域と申請地を各々別色の実線で明示 ・構造物（擁壁・調整池・沈砂池等）の位置・種類を記入 ・測点、計画地盤高、法面勾配、法面保護工を記入

縦横断図	<p>切土・盛土勾配、切土・盛土高、土石の堆積、小段と排水溝、法面保護、盛土法尻の補強、盛土外周の土留施設の設置、境界線からの保全距離等が適当な計画であるかを確認しようとするためのものである。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・境界を明示（行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域と申請地を各々別色の実線で明示） ・現況・計画地盤線を明示 ・基準線を記入 ・各種構造物、法面勾配を記入 ・盛土（赤色）、切土（黄色）、土石の堆積（任意の色）に着色
その他知事が必要と認める書類	土地調書	<p>土地所在地番で申請地及び土地所有者と行為者の関係、及び利害関係者を確認しようとするためのものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参考様式（別紙1）により申請地の調書を作成
	土地所有者等の同意書	<p>土地の所有権、地上権、質権、賃借権、使用貸借による権利又はその他の使用及び収益を目的とする権利を有する者の全ての同意を得ているか確認しようとするためのものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同意書については、同意年月日、同意する地番を記入（自署による場合は押印は不要）
	登記簿謄本	<p>土地調書の記載事項を確認しようとするためのものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登記簿が電算化されている場合は、要約書で可とする
	利害関係者の協議書等	<p>砂防指定地行為は民有地における行為が大部分であること及び雨水等の放流による下流の利水者が影響を受けること等私法上の紛争が生じることが多い。利害関係の協議書等を添付させることは関係者に当該行為の計画を事前に周知させることにより私法上の紛争を未然に防止しようとするためのものである。なお、利害関係者の範囲は行為地の現状と行為内容を検討し必要最低限のものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水利組合等については、協議結果報告書が必要。 ・地元自治会については、説明会議事録等で可とする ・隣接地については、境界確認書等で境界を明示する。

地籍図又は 第14条地 図	申請地との隣接関係を確 認することにより、利害関係 者を確認しようとするため のものである。		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接地全部を転写したものの申請地を黄色で着色 ・行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域を赤枠で明示 ・字名・地番を記入 ・当該地籍図又は第14条地図を保管する法務局名・転写年月日・行為区域が多数にまたがる場合は合成図を作成 ・合成図の作成年月日
造成計画平 面図（切・ 盛図）	移動量、移動方向及び移動 方法に無理がないか、造成地 盤に不安定な要因を作ること はないか、移動に伴い排水 に支障がないかを確認しよ うとするためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域と申請地を各々別色の実線で明示 ・縦横断線を記入 ・盛土（赤色）、切土（黄色）、土石の堆積（任意の色）に着色
切盛土丈量 図	沈砂池の必要量を算出する ためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・丈量図を利用し、申請地内の切土面積、盛土面積及び土石の堆積面積を求積すること
土量計算書	図面に基づき計算書の検 算をするとともに、盛土材料 に有機質が含まれていない かを検討しようとするため のものである。		<ul style="list-style-type: none"> ・土量計算の集計を記入 ・切土、盛土、土石の堆積量及び残土量、盛土材料を明記
堆積土石の 崩壊を防止 するための 措置	堆積土石の崩壊に対する 安全対策が適切かを確認し ようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> ・土石の堆積を行う面（鋼板等を使用したものであって、勾配が1/10以下であるものに限る）を有する堅固な構造物を設置する措置等、堆積した土石の滑動を防ぐ又は滑動する堆積した土石を支えることができる措置の内容が、適切であることを証する

	土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	堆積土石の崩壊に伴う土砂流出に対する安全対策が適切かを確認しようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> 次の①か②のいずれかの措置の内容が、適切であることを証する <ul style="list-style-type: none"> ①堆積した土石の周囲にその高さを超える鋼矢板等（土圧、水圧及び自重によって損壊、転倒、滑動又は沈下をしない構造でなければならない）を設置すること ②次に掲げる全ての措置 <ul style="list-style-type: none"> ・堆積した土石を防水性のシートで覆うこと等、堆積した土石の内部に雨水その他の地表水が浸入することを防ぐための措置 ・堆積した土石の土質に応じた緩やかな勾配で土石を堆積すること等、堆積した土石の傾斜部を安定させて崩壊又は滑りが生じないようにするための措置
排水計画平面図	流水方向が記入されているか、法線及び縦断的に無理な部分はないか、流量配分が安全であるか、排水構造図及び流量計算書を確認しながら検討しようとするためのものである。	1/500 以上	<ul style="list-style-type: none"> 行為区域（開発区域）と申請地（＝砂防指定地）が異なる場合は、行為区域と申請地を各々別色の実線で明示 ・排水施設の位置、種類を記入 ・流水方向、流量配分、流末処理を記入 ・調整池、沈砂池、仮設沈砂池の位置を記入 ・計画平面図に記載可 	
流域図	流域界の決定及び面積に誤りはないかを検討しようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> 現況の水路、渓流及び流域区分、水路系統毎の集水範囲を区分明示 	
水理計算書	流出量算定の求め方、これに対応する排水計画について検討しようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> 排水計画における流出量の算定、排水路の断面決定及び沈砂池等容量算定の根拠を記入 ・他法令において同種の計算をする場合は、比較検討し最大値を採用すること 	
重要構造物 ・盛土の安定計算書	施行位置及び地盤を考慮しようとするためのものである。		<ul style="list-style-type: none"> 擁壁・堰堤等重要構造物についての安定性の根拠を記入 ・渓流等において高さ 15m 超えの盛土についての安定性の根拠を記入 	
防災計画平面図	現況平面図、計画平面図から判断して、防災施設の位置 ・工法・規模が妥当であるかを検討しようとするためのものである。	1/2500 以上	<ul style="list-style-type: none"> 工事中の土砂流出防止施設、仮排水施設の位置・概要、仮沈砂池等の工事中の機能維持等を記入 (計画平面図を利用すること) 	

	防災計画説明書	申請行為について審査基準に適合しているか、記載どおりに計画平面図に反映しているかを確認しようとするためのものである。		・参考様式（別紙2）により作成
	工程表	工種と雨期との関係を重点として、工程に無理がないかを検討しようとするためのものである。		・各作業工程順（経過月数〔日数〕）で記載
	写真撮影位置図	現場写真の撮影位置を特定しようとするためのものである。		・方位を明示 ・写真撮影位置・方向を明示 ・現況平面図利用可
	他法令の許可書等の写し	許可権者、許認可年月日、許可期間、許可条件等を確認しようとするためのものである。		・申請中の場合は申請書の写を添付
	委任状	申請が代理者により行われる場合、申請者と代理者との関係及び委任事項を確認しようとするためのものである。		・申請者の住所、氏名、印が必要 ・委任事項を記載